３月その２

高野長英記念館の草木

春　分

　３月２０日は「春分の日」　日本では「自然をたたえ　生物をいつくしむ日」とされ　国民の祝日となっています　記念館周辺の草木に少しずつ　春の息吹を感じさせる　尊い成長の姿を　見ることができます

フキノトウ　（撮影　３月１３日）

＊キク科フキ属の多年草、雌雄異株。早春の花茎は、フキノトウ（蕗の薹）。地下茎から多くの葉柄を立てて、円い大型の葉をつけます。方言名では、「ばっけ」「ばっきゃ」などといわれています。花言葉は「公正な裁き」「真実は一つ」「仲間」。潜行中も真実を求め、門人や仲間に匿われた長英が偲ばれます。

チューリップ　（撮影　３月１３日）

＊ユリ科チューリップ属の植物。和名は鬱金香(うこんこう)、花の香りがスパイスまたはウコンのような、埃臭いことに由来。どんな色の花を咲かせるのか、今から楽しみです。

ウメ　(撮影　３月１９日)　　スイセン　(撮影　３月１３日)

＊スイセンはヒガンバナ科スイセン属に含まれる植物の総称。花言葉は黄色いスイセンは「愛に応えて」、白いスイセン」は「尊敬」「神秘」、ピンクのスイセンは「上品な」といわれています。